

# 令和元年度達曽部地区まちづくり計画

## 生き生き元気に笑顔で暮らす達曽部

### 1. 計画策定の背景と趣旨

平成30年度、達曽部地区まちづくり計画を策定するために話し合う会を開催し、「達曽部でこれからも暮らしていくために必要なこと」を考えました。本計画では、地域の現状と将来の人口推計、住民で考えたこれからの達曽部地区に必要な活動をまとめました。



### 2. 達曽部の概況

#### (1) 達曽部の暮らしについて

達曽部地区は遠野市の北西部に位置しており、主要道路として遠野・盛岡間を結ぶ国道396号線や県道岩根橋・達曽部・土淵線があり、花巻市と隣接する「西の玄関口」となっています。

また、藩政時代から明治までは、主要な宿場町であったことから、現在でも昔ながらの町並みが残っています。

さらに、豊かな地域資源にも恵まれ、稲荷穴の湧水や特産品のわさびは、地域の自慢であり、誇りです。



## (2) 達曽部の人口推計

7つの行政区により構成され2018年の人口が1,123人、世帯数が約400世帯です。

今後、人口減少に対する取り組みを何も実施しない場合は、この推計のように少子高齢化が進むと予測されます。2028年には人口が854人となり2018年時点から269人の減少が見込まれます。

加えて、2028年には15～64歳の生産年齢人口と65歳以上の人口が逆転し、達曽部のみで考えた場合に65歳以上の住民ひとりを15～64歳の住民ひとりが支える将来も考えられます。

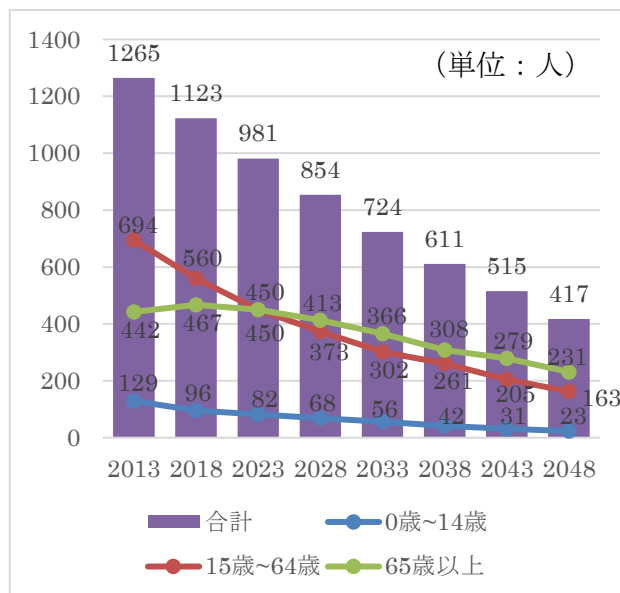


図1 達曽部地区人口推計(P サボ東北作成)



## 3. アンケート調査結果について 🥕

計画策定に向けて、平成30年6月に「住民アンケート」を実施しました。達曽部の暮らしについて住民が思う「好きなところ良いところ」「生活するうえで困ること不安なこと」として回答いただきました。

### ❖ 達曽部の好きなところ良いところ

- ・ 山や里などの自然が豊か
- ・ 水や空気がきれい、美味しい
- ・ 災害や犯罪が少なく安心して暮らせる
- ・ 健康的に暮らせる
- ・ 食べ物が美味しい
- ・ 近所づきあいが良い 等

### ▲ 生活するうえで困ること不安なこと

- ・ 日常的な通院や買い物などの外出が不便
- ・ 家の周りの除雪や草刈りが大変、心配
- ・ 農作業や農地の管理が大変になってきた 等



## 4. ワークショップでの話し合い

### (1) 豊かな地域の魅力

計画を作るにあたり、「達曽部の誇れるもの」「大事にしたいもの」などを話し合い、100を超える達曽部のお宝を発見しました。



表1 達曽部のお宝や資源の一部

<b>生活文化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人柄が良い</li> <li>・結の精神が残っている</li> <li>・花壇整備がきれい</li> <li>・盛岡や花巻に比較的近い</li> </ul>
<b>自然景観</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稲荷穴</li> <li>・湧水</li> <li>・宿川のホタル</li> <li>・星空</li> <li>・飛龍山</li> <li>・田植え後の蛙の声</li> <li>・山菜などの山の恵み</li> </ul>
<b>歴史</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金取遺跡</li> <li>・大理石採取</li> <li>・集落ごとの多彩な郷土芸能</li> </ul>
<b>まつり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稲荷穴まつり</li> <li>・宿場のひな祭り</li> <li>・八幡様のお祭り等</li> </ul>
<b>産業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清水を活かしたわさび栽培</li> <li>・畜産や野菜づくりなどの一次産業が豊富</li> </ul>



### (2) 達曽部の課題

達曽部の住民アンケートに加え住民による話し合う会で意見交換し、普段生活しているの困りごとなどを共有しました。

表2 達曽部の課題の一部



<b>生活</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の増加</li> <li>・車が無いと不便</li> <li>・地区役員のみ手不足</li> <li>・除雪が大変</li> </ul>
<b>自然景観</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山林の荒廃や土砂崩れ不安</li> <li>・熊や鹿など鳥獣による食害</li> <li>・松食い虫被害木の放置</li> </ul>
<b>地域活動</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代が地域で活躍する機会がない</li> <li>・河川清掃などのやり方の見直し</li> </ul>
<b>まつり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りに来る人と出店の減少</li> <li>・お祭りの宣伝が足りない</li> </ul>
<b>産業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の後継者が少ない</li> <li>・地域内の商店が少ない</li> <li>・働く場が少ない</li> </ul>

## 5. 達曽部の将来像

達曽部の豊富な自然の恵み、今も根づく人々のつながりを活かし、将来も生き活きと元気に暮らし続けていけるよう、これからの地域づくりを住民みんなで挑戦し、『**生き活き元気に笑顔で暮らす達曽部**』を目指します。



## 6. 今後の活動に向けて～講師からアドバイス～

今回策定した「達曽部地区まちづくり計画」は、住民アンケートで寄せられた回答を踏まえ、計7回にわたり開催した、計画検討の話し合いで住民が悩み、苦労して作り上げたものです。

計画書に記載している活動計画は「今後5年で達成できる活動」です。活動を進める中で実現が難しい活動や新たに取り組む必要がある活動などが出てくると思います。そこで、毎年または2年おきにこの計画書を更新して、難しい活動の修正や達成した活動の評価と改善点の確認を行いましょう。

この計画がこれからの達曽部を考え、何かを「やってみよう！」と思えるキッカケになることを願っています。達曽部の住民みんなと一緒に考え、挑戦していきましょう！



策定年度：令和元年度

策定：達曽部地域づくり連絡協議会

協力・支援：達曽部地区センター、(株)Pサポ東北

## 達管部地区まちづくり 活動計画

### 1. 観光交流 テーマ「達管部を知ろう」

#### 1-1 情報発信

	活動内容	目的・理由
1	達管部のホームページ、SNS等を立ち上げ、地域の行事などの情報や特産品を県内外に発信する。地区民が投稿者となり達管部の情報を更新する。	市内外の人が稲荷穴などの達管部の良さを知り達管部に足を運ぶきっかけをつくるため。盆踊りなど地域の行事に参加する人を増やすため。
2	稲荷穴祭りや宿場のひな祭りを遠野テレビなどを活用してPRの機会を増やす。将来的には花巻など周辺の市のコミュニティFM局などでも発信してもらう。	稲荷穴まつりなど達管部のイベントを地区内外にPRするため。多くの人が交流することで大人、高齢者が元気になることで地域が盛り上がっていくと思うから。
3	観光案内用の達管部マップをつくる。	達管部の名所やお宝をPRするため。

#### 1-2 地域外との交流イベント

	活動内容	目的・理由
1	農作業を通じた交流イベントを企画し、インターネットを活用して都会からも参加者を募り開催する。	達管部のPR、出会いの機会づくりをするため。
2	名水、稲荷穴、そば打ちや魚釣り、ヨガ、BBQ、コーヒー、わさび田の見学や収穫体験など自然を楽しむ体験イベントを開催する。	地元以外の人にも達管部の良さを知ってもらい、自然遺産の保護を広めるため。人が集まることによる経済効果も見込めるから。
3	夏休みの親子向けに自然とふれあえるツアーを企画、市内外の親子に広く募集して、開催する。	達管部を知るきっかけにして、その後も訪れる人を増やす。
4	大学生などの地域外の若者との交流を復活する。	達管部の子どもや住民が大学生と交流を行うことで子どもや住民の視野を広げ、地域の良いところを再確認する機会にするため。

#### 1-3 稲荷穴の観光活用

	活動内容	目的・理由
1	市と協力して稲荷穴を観光できる場所にする。まずは以下の2～4のような計画づくりから行う。	地域の活性化につながると思うから。
2	達管部の遠野遺産めぐりを実施する。稲荷穴をゴールにして到着後に食事などを楽しめる内容にしたい。	達管部の名所を歩いて知ってほしいから。
3	稲荷穴を起点にして達管部川の景観を整備して、市内外からも人が訪れる環境にしていく。	達管部の魅力である、きれいな水と自然環境を活かして多くの人が達管部に興味を持つきっかけをつくるため。
4	管理人を置き、入った時間や人数を管理して事故や破損等に注意し、稲荷穴に訪れた人向けに長靴、電灯を準備して洞窟に入れるようにする。	稲荷穴を達管部地区の観光に活かすため。
5	稲荷穴の整備として、内部の一部を撮影し上映、遊歩道の整備を行う。稲荷穴まつりの時だけでも洞窟に入れるようにする。	整備作業を通して地区民が集まる機会づくり、観光客の集客のため。

## 2. 自然歴史活用 テーマ「水と山で笑顔の達磨部」

### 2-1 春休み夏休みの学習会

	活動内容	目的・理由
1	日本最古の縄文遺跡「金取遺跡」をはじめ、史跡や忘れ去れている場所をめぐる学習会を、春休みや夏休みを利用して子ども達も参加して行い地域の歴史を学ぶ。	達磨部の文化を子ども達に伝える歴史学習になるから。
2	地区内を歩き、いろいろな場所で写真を撮り、ベスト写真を選ぶ。地場産品を賞品にしてベスト写真の撮影者に渡す。	目で再確認することで普段気づかないポイントを発見することができ、写真にすることでみんなと共有できるから。
3	ホタルの生息する環境づくりや保全を行い、ホタル鑑賞会を開催し参加を呼びかける。	季節ごとの自然に目を向ける機会を増やすため。きれいな水とホタルの保全を通して環境整備への関心を高めるため。

### 2-2 山歩きグループ

	活動内容	目的・理由
1	山歩きグループを結成して山歩きを楽しむ。（最初は少人数で結成する）	達磨部の自然や山を楽しみながら健康を増進するため。
2	大麻部山の散策路を整備してPRする。	達磨部の新たな魅力を発見するため。

### 2-3 達磨部の文化を伝える

	活動内容	目的・理由
1	稲荷穴まつりで達磨部に住んでいた方が作詞した白石洞音頭および達磨部音頭の普及と伝承を行う。振り付けもして踊れるようにできると面白そう。	達磨部ゆかりの文化を伝えていくため。
2	世代間交流活動などでしめ縄づくりを行う。	達磨部の文化を将来に伝えていくため。
3	八幡様のお祭りでのさんさ踊りの復活や湧水神楽など郷土芸能の継承をしていく。	郷土芸能を残すため。
4	八幡様の階段を走って上るタイムトライアルを開催する。	八幡様に訪れ親しむ機会づくりになる。

### 3. 商売づくり テーマ「地域の活性化で元気に」

#### 3-1 名水を活用した商品づくり

	活動内容	目的・理由
1	名水で淹れたコーヒー、名水を使ったカクテルを作って飲む。さらに祭りで振る舞い、将来的には販売する。	達磨部の美味しい水を知ってほしいから。

#### 3-2 わさびを活用した商品づくり

	活動内容	目的・理由
1	達磨部産のわさびのさらなるブランド化、わさびを使った特産品をコンクール形式などで開発する。	わさび産地としての知名度向上、わさび農家の後継者育成と新たな農家を創出するため。

### 4. 地域内交流 テーマ「達磨部でつながろう」

#### 4-1 花いっぱい運動を活かした交流

	活動内容	目的・理由
1	地連協に花苗を買ってもらい各地区の集会所単位で植え付けから日々の管理を行う。	花いっぱい運動で植えた後の管理が大変なので、まとまった場所に植えられると管理しやすくなるから。住民の交流の機会としても続けたい。
2	花いっぱい運動と連携して稲荷穴周辺の自然を活かすために刈り払いや遊歩道整備を行う。	稲荷穴に立ち寄る人がもっと増えるように導線をつくるため。

#### 4-2 お祭り

	活動内容	目的・理由
1	灯ろうづくりを児童クラブや老人クラブなど地区民全体で行う。さらに出店や花火も行う。灯ろうは明神さんのお祭りにも活用する。	明神さんのお祭りに来る人を増やすため。明神さんのお祭りを盛り上げたいから。
2	八幡様のお祭りに地区民全員が参加できる様に、郷土芸能の伝承者を増やす、達磨部音頭を踊る。	地元の人が盛り上がることで、昔のにぎわいのある祭りを復活させたいから。
3	宿場のひな祭りに向けたまんじゅうづくり、つるし雛づくり、手芸、折り紙の講習を行う。	大人、高齢者が元気になることで地域が盛り上がっていくと思うから。
4	同級会と連動して達磨部地区の出身者に盆踊り開催を呼びかける。	今は盆踊り参加者が少ないので、達磨部地区出身者が帰省するタイミングで盆踊りに参加してもらうため。
5	協賛スポンサーを募り景品などを増やして子ども達や参加者を喜ばせる。	盆踊りに参加する人の楽しむ要素を増やすため。
6	盆踊りで達磨部音頭だけでなく旧小中学校の校歌など達磨部の懐かしい曲を流す。	ふるさとの懐かしさを感じてもらうため

### 4-3 お茶っこ飲みや食事で地区民が集まる

	活動内容	目的・理由
1	稲荷穴の水でコーヒーやお茶などを美味しく淹れて楽しむお茶会を行う。将来的には集まって料理をして食べることに出来る場にしていく。	地域の住民のコミュニケーションの機会を増やすため。
2	料理が出来る人は食事を、料理が出来ない人は缶詰などを提供して誰でも店番を担当できる様な居酒屋を週末のみ開く。	居酒屋が達増部には少ないので、一種の娯楽として気軽に人が集まる場をつくるため。
3	近所同士で一人暮らし世帯の見守り、話し相手になる。	一人暮らしの方が孤立しないようにするため。
4	空き家や一人暮らし世帯のお家でサロンなどを開催する。(困りごとの相談の場にもなる)	お茶のみグループが多い達増部なのでサロンなどで、ボケ防止、見守り、長生き増進のため。

### 4-4 地区民スポーツ大会

	活動内容	目的・理由
1	達増部地区民だけのスポーツ大会を開催する。参加者を3チームくらいに分けて年齢性別問わず出来るスポーツ種目で実施する。毎年でなく数年に一度でも良い。小学校との連携も考えたい。	町民運動会は宮守町全体での開催なので、達増部地区民だけのスポーツ大会を行い地区民の交流にしたい。

## 5. 生活支援 テーマ「共助・共生の達増部」

### 5-1 草刈り・除雪支援

	活動内容	目的・理由
1	助け合い隊を結成して、地連協で要請をまとめ助け合い隊に指示し草刈りや除雪、交通支援などを行う。	草刈りや除雪、外出時の交通手段の不足に困っている世帯の助け、高齢者の見守りにもなるから。
2	草刈り、雪かきバスターズを募集して結成する。	草刈りや除雪が大変な老人世帯のお助け、自然環境や景観の保全、仕事づくりのため。

### 5-2 河川清掃のやり方を見直す

	活動内容	目的・理由
1	河川清掃などの地区活動は参加者の高齢化により草刈り作業が大変になっているので、若い世代も参加しやすくなるスケジュールややり方を見直す必要がある。	地区の清掃活動などへの参加者の高齢化のため。
2	地区単位では無く地区の人員により草刈りの範囲を決める方法にする。	達増部川の草刈りが今のままでは大変なので、より多くの地区民が景観保全に参加しやすくなるため。